

必修問題／人体の構造と機能／疾病の成り立ちと回復の促進／成人看護学に該当する項目です。

疾患と看護⑦ 運動器

CONTENTS

はじめに 3
編集・執筆 9
序 運動器看護を学ぶ上で大切な視点 11

AR コンテンツ

- 「メディカAR」の使い方 2
- 運動器の解剖生理 16
- 骨格筋と筋原線維〈動画〉 21
- 脊椎の構造〈動画〉 23
- トレンデレンブルク徴候〈動画〉 33
- 肩関節の屈曲・伸展〈動画〉 42
- 股関節の屈曲・伸展〈動画〉 42
- 頸部の屈曲・伸展〈動画〉 42
- 運動機能障害のフィジカルアセスメント（病室での一例）〈動画〉 43
- 頸椎硬性装具の装着法〈動画〉 83
- 腰椎軟性コルセットの装着法〈動画〉 84
- 介達牽引〈動画〉 88
- 間欠的空気圧迫法〈動画〉 97
- 弾性ストッキングの装着法〈動画〉 97
- 関節可動域訓練（ROM訓練）〈動画〉 100
- 松葉杖歩行〈動画〉 136
- 膝装具の装着法〈動画〉 166
- 脊髄（頸髄）損傷患者の更衣〈動画〉 177
- 関節リウマチの運動療法〈動画〉 207
- 関節リウマチの自助具〈動画〉 209
- 胸椎／腰椎除圧・固定術の患者用パス〈資料〉 239
- 腰痛体操〈資料〉 255

1 運動器疾患を学ぶための基礎知識

1 運動器の構造と機能 **AR** 16

1 骨の構造と機能 16

2 関節の構造と機能 19

3 筋肉の構造と機能 **AR** 20

4 末梢神経の構造と機能 22

5 脊椎の構造と機能 **AR** 23

6 身体の方角・位置／断面／動き 24

2 運動器の異常でみられる症候 25

1 疼痛 25

1 疼痛とは 25

2 腫脹 27

1 腫脹とは 27

3 変形 29

1 変形（四肢・脊椎の変形）とは 29

4 しびれ 31

1 しびれとは 31

5 麻痺 32

1 麻痺とは 32

6 異常歩行 33

1 異常歩行とは **AR** 33

7 可動域制限 34

1 可動域制限とは 34

8 筋力低下 36

1 筋力低下とは 36

9 筋萎縮 37

1 筋萎縮とは 37

3 整形外科で行われる検査と看護 39

1 整形外科で行われる主な検査 39

1 整形外科の主な検査とは 39

1 問診 39

2 身体診察 39

3 各種検査 39

4 検査の方法 39

2 計測 40

1 計測とは 40

1 四肢長 41

2 四肢の周径 41

3 関節可動域 **AR** 41

4 筋力 41

5 疼痛 41

6 ADL 43

2 計測の看護 **AR** 43

1 四肢長 44

2 四肢の周径 44

3 関節可動域 45

4 ADL 45

5 疼痛 46

3 徴候・テスト 47

1	徴候・テストとは	47	1	超音波検査とは	63
1	頸椎疾患	47	2	超音波検査の看護	64
2	腰椎疾患	48	11 関節鏡検査		65
3	股関節疾患	49	1	関節鏡検査とは	65
4	膝関節疾患	49	2	関節鏡検査の看護	65
5	肩関節疾患	49	12 筋電図検査		66
6	手関節・手部疾患	50	1	筋電図検査とは	66
2	徴候・テストの看護	50	2	筋電図検査の看護	67
4 神経学的検査		51	13 神経伝導検査		67
1	神経学的検査とは	51	1	神経伝導検査とは	67
1	感覚	51	2	神経伝導検査の看護	68
2	反射	52	14 骨密度検査		69
3	筋力	53	1	骨密度検査とは	69
4	クローヌス	53	2	骨密度検査の看護	70
2	神経学的検査の看護	54	15 血液・尿生化学検査		70
1	筋力の評価	54	1	血液・尿生化学検査とは	70
2	感覚の評価	54	1	炎症性疾患	70
3	反射の評価	54	2	代謝・内分泌疾患	71
5 単純X線検査		55	3	腫瘍性疾患	71
1	単純X線検査とは	55	2	血液・尿生化学検査の看護	71
2	単純X線検査の看護	56	16 関節液検査		72
6 CT検査		56	1	関節液検査とは	72
1	CT検査とは	56	2	関節液検査の看護	72
2	CT検査の看護	57	17 髄液検査		73
7 MRI検査		58	1	髄液検査とは	73
1	MRI検査とは	58	2	髄液検査の看護	74
2	MRI検査の看護	59	18 生検術		75
8 造影検査		60	1	生検術とは	75
1	造影検査とは	60	1	針生検	75
1	関節造影	60	2	切開生検	75
2	脊髄造影	60	3	切除生検	75
3	椎間板造影・神経根造影	60	4	検査の方法	75
4	血管造影	61	2	生検術の看護	76
2	造影検査の看護	61	4 運動器疾患の主な治療・処置と看護		77
1	関節造影の看護	61	1	安静	77
2	脊髄造影の看護	61	1	安静とは	77
3	神経根造影の看護	61	2 薬物療法		77
4	血管造影の看護	61	1	薬物療法とは	77
9 核医学検査		62	1	経口薬	77
1	核医学検査とは	62	2	注射・注入薬	79
1	骨シンチグラフィ	62	3	経皮用剤	80
2	¹⁸ F-FDG-PET	63	2	薬物療法の看護	80
3	廃棄物の取り扱い	63	1	消炎鎮痛薬	80
2	核医学検査の看護	63	2	抗菌薬	81
10 超音波検査		63			

3 骨粗鬆症治療薬 81

3 装具療法 82

1 装具療法とは 82

1 装具の種類と特徴 **AR** 82

2 義肢 83

3 治療・処置の方法 84

4 矯正法・整復法 85

1 矯正法・整復法とは 85

1 徒手矯正 85

2 徒手整復 86

3 治療・処置の実際 86

5 牽引法 87

1 牽引法とは 87

1 徒手牽引 87

2 介達牽引 87

3 直達牽引 88

4 治療・処置の実際 **AR** 88

6 固定法 90

1 固定法とは 90

1 テーピング 90

2 弾力包帯 91

3 ギプス包帯 91

4 ギプス各種 91

5 治療・処置の実際 91

7 手術療法 93

1 手術療法とは 93

1 人工関節置換術 93

2 手術療法の看護 96

1 周術期 96

2 人工関節置換術 **AR** 96

3 セメント固定とセメントレス固定 97

4 鏡視下手術 98

8 リハビリテーション 98

1 リハビリテーションとは **AR** 98

2 リハビリテーション看護とは 102

1 対象と領域 102

2 障害発生の時期から見たリハビリテーション看護 102

2 運動器の疾患と看護

5 骨折 106

1 鎖骨骨折 108

1 鎖骨骨折とは 108

2 鎖骨骨折患者の看護 109

2 肋骨骨折 110

1 肋骨骨折とは 110

2 肋骨骨折患者の看護 111

3 上腕骨骨折 112

1 上腕骨骨折とは 112

2 上腕骨骨折患者の看護 115

4 橈骨遠位端骨折 117

1 橈骨遠位端骨折とは 117

2 橈骨遠位端骨折患者の看護 120

5 骨盤骨折 122

1 骨盤骨折とは 122

2 骨盤骨折患者の看護 126

6 大腿骨近位部骨折 128

1 大腿骨近位部骨折とは 128

2 大腿骨近位部骨折患者の看護 132

7 膝蓋骨骨折 134

1 膝蓋骨骨折とは 134

2 下肢の骨折患者の看護 **AR** 135

8 脛骨骨幹部骨折 137

1 脛骨骨幹部骨折とは 137

2 脛骨骨幹部骨折患者の看護 138

9 足関節骨折 139

1 足関節骨折とは 139

2 足関節骨折患者の看護 140

10 踵骨骨折 140

1 踵骨骨折とは 140

2 踵骨骨折患者の看護 142

11 脊椎骨折 142

1 脊椎骨折(脊椎圧迫骨折, 腰椎骨折, 椎体骨折)とは 142

2 脊椎骨折患者の看護 144

6 脱臼 148

1 肩関節脱臼 149

1 肩関節脱臼とは 149

2 肩関節脱臼患者の看護 150

2 肩鎖関節脱臼 152

1 肩鎖関節脱臼とは 152

2 肩鎖関節脱臼患者の看護 153

3 肘内障 154

1 肘内障とは 154

2 肘内障患者の看護 155

4 肘関節脱臼 155

1 肘関節脱臼とは 155

2 肘関節脱臼患者の看護 156

7 靭帯損傷 158

1 膝靭帯損傷 159

- 1 膝靭帯損傷とは 159
- 2 膝靭帯損傷患者の看護 **AR** 165

2 足関節靭帯損傷 167

- 1 足関節靭帯損傷とは 167
- 2 足関節靭帯損傷患者の看護 169

8 その他の外傷 170

1 脊髄損傷 172

- 1 脊髄損傷とは 172
- 2 脊髄損傷患者の看護 **AR** 174

2 四肢・手指切断 178

- 1 四肢・手指切断とは 178
- 2 四肢・手指切断患者の看護 181

3 肩腱板断裂 183

- 1 肩腱板断裂とは 183
- 2 肩腱板断裂患者の看護 185

9 骨粗鬆症 188

1 骨粗鬆症 189

- 1 骨粗鬆症とは 189
- 2 骨粗鬆症患者の看護 193

10 関節炎・腱鞘炎 196

1 関節炎 198

- 1 関節炎とは 198
- 2 関節炎患者の看護 200

2 関節リウマチ 201

- 1 関節リウマチとは **AR** 201
- 2 関節リウマチ患者の看護 **AR** 207

3 腱鞘炎 209

- 1 腱鞘炎とは 209
- 2 腱鞘炎患者の看護 210

4 肩関節周囲炎 211

- 1 肩関節周囲炎(五十肩)とは 211
- 2 肩関節周囲炎患者の看護 211

11 変形性関節症 214

1 変形性股関節症 215

- 1 変形性股関節症とは 215
- 2 変形性股関節症患者の看護 218

2 変形性膝関節症 221

1 変形性膝関節症とは 221

2 変形性膝関節症患者の看護 224

12 大腿骨頭壊死症 228

1 大腿骨頭壊死症 229

- 1 大腿骨頭壊死症とは 229
- 2 大腿骨頭壊死症患者の看護 230

13 脊椎変性疾患 233

1 椎間板ヘルニア 234

- 1 椎間板ヘルニアとは 234
- 2 椎間板ヘルニア患者の看護 **AR** 235

2 頸椎症性神経根症 242

- 1 頸椎症性神経根症とは 242
- 2 頸椎症性神経根症患者の看護 244

3 頸椎症性脊髄症 245

- 1 頸椎症性脊髄症とは 245

4 後縦靭帯骨化症 247

- 1 後縦靭帯骨化症とは 247

5 腰部脊柱管狭窄症 249

- 1 腰部脊柱管狭窄症とは 249
- 2 腰部脊柱管狭窄症患者の看護 251

6 すべり症 252

- 1 すべり症とは 252
- 2 すべり症患者の看護 254

7 変形性脊椎症 255

- 1 変形性脊椎症とは 255
- 2 変形性脊椎症患者の看護 **AR** 255

8 脊柱側弯症 256

- 1 脊柱側弯症とは 256
- 2 脊柱側弯症患者の看護 256

14 骨・軟部腫瘍 260

1 骨肉腫 261

- 1 骨肉腫とは 261
- 2 骨肉腫患者の看護 263

2 ユーイング肉腫 266

- 1 ユーイング肉腫とは 266
- 2 ユーイング肉腫患者の看護 267

3 転移性骨腫瘍 269

- 1 転移性骨腫瘍とは 269
- 2 転移性骨腫瘍患者の看護 271

4 軟部腫瘍 272

- 1 軟部腫瘍とは 272
- 2 軟部腫瘍患者の看護 273

15 コンパートメント症候群 275

1 コンパートメント症候群 276

- 1 コンパートメント症候群とは 276
- 2 コンパートメント症候群患者の看護 277

16 筋疾患 279

1 筋ジストロフィー 280

- 1 筋ジストロフィーとは 280
- 2 デュシェンヌ型筋ジストロフィー患者の看護 282

2 重症筋無力症 284

- 1 重症筋無力症とは 284
- 2 重症筋無力症患者の看護 286

17 末梢神経麻痺 289

1 橈骨神経麻痺 290

- 1 橈骨神経麻痺とは 290
- 2 橈骨神経麻痺患者の看護 291

2 総腓骨神経麻痺 293

- 1 総腓骨神経麻痺とは 293
- 2 総腓骨神経麻痺患者の看護 294

3 絞扼性神経障害(絞扼性ニューロパチー) - 295

- 1 絞扼性神経障害(絞扼性ニューロパチー)とは 295
- 2 絞扼性神経障害(絞扼性ニューロパチー)患者の看護 297

18 その他の疾患 300

1 ロコモティブシンドローム(運動器症候群) - 302

- 1 ロコモティブシンドロームとは 302

2 サルコペニア(筋肉減少症) 302

- 1 サルコペニアとは 302

3 廃用症候群(生活不活発病) 303

- 1 廃用症候群とは 303

4 フレイル 303

- 1 フレイルとは 303

3 事例で学ぶ運動器疾患患者の看護

19 バイク事故で脊髄損傷、四肢麻痺となった患者の看護 306

- 1 急性期のアセスメント 306
- 2 急性期の看護計画 308
- 3 回復期のアセスメント 309
- 4 回復期の看護計画 311
- 5 看護の実際 312
- 6 看護の評価 313
- 7 事例を振り返って 314

20 大腿骨転子部骨折の認知症患者の急性増悪～地域連携までの看護 316

- 1 回復期のアセスメント 316
- 2 回復期の看護計画 318
- 3 維持期のアセスメント 319
- 4 維持期の看護計画 320
- 5 看護の実際 321
- 6 看護の評価 322
- 7 事例を振り返って 323

看護師国家試験出題基準(平成30年版)対照表 321

索引 323

■本書で使用する単位について
 本書では、国際単位系(SI単位系)を表記の基本としています。
 本書に出てくる主な単位記号と単位の名称は次のとおりです。
 m:メートル L:リットル
 kg:キログラム kcal:キロカロリー

■用字について
 「頸」の字には、(頸)と(頸),「弯」の字には(弯)と(彎)の表記がありますが、本書ではそれぞれ(頸)(弯)を採用しました。